

メガソーラー規制条例を

太白CC 太陽光発電

一般質問

令和2年 第三回定期会(9月)

太白区秋保町のゴルフ場「太白カントリークラブ」で2024年、運転開始を目指す「メガソーラー」をめぐる、住民の反対運動が起きています。背景には国の制度の欠陥があり、仙台市は独自の規制条例を作り、住民の「公共の福祉」を守るべきだとれます。

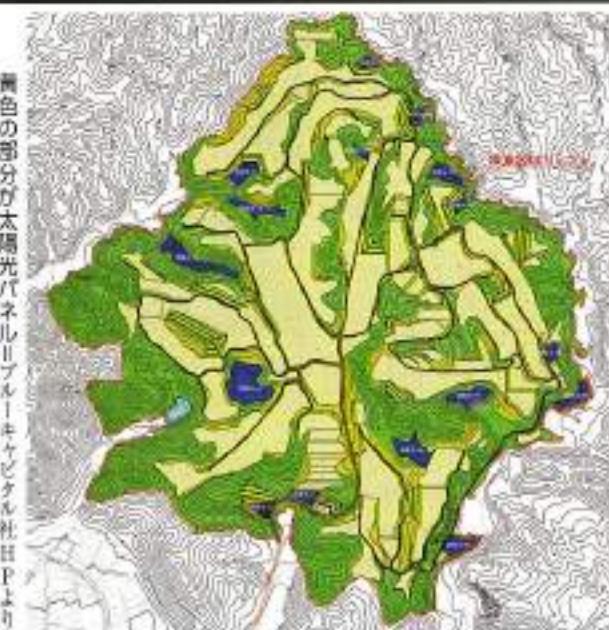
①パネルに有害物質

この事業者は、「フルーキャピタルマネジメント社」(東京都港区)。広大なゴルフ場に、中国製のパネル11万20枚を設置し、発電出力は約51メガワットと全国でも屈指の規模になります。

一方で近年、気候変動により激甚化する大型台風や集中豪雨などにより、太陽光パネルで人が感電する可能性もあります。

特に太白カントリークラブでは、これまでにもコースの一部が崩れ落ち、補修を繰り返してきました。

パネル放置 ID転売 住民トラブル…



事業者が撤退した場合、膨大なパネルが放置され、その搬送費用が仙台市の負担になる懸念もあります。実際に、東京商工リサーチによれば、2020年1月から7月にかけ、開発業者の倒産が44件と相次いでおり、その背景には、事業計画の甘さが指摘されています。

②撤退ならパネル放置も

事業者が撤退した場合、膨大なパネルが放置され、その搬送費用が仙台市の負担になる懸念もあります。実際に、東京商工リサーチによれば、2020年1月から7月にかけ、開発業者の倒産が44件と相次いでおり、その背景には、事業計画の甘さが指摘されています。

また、「ロードサイド」は様子と事業者間でやり取りされており、所有者が不明のまま、パネルだけが放置されるケースも出ています。

④観光への悪影響も

太白カントリークラブ近くにある秋保温泉街は、皇室の御料温泉の一つとして位置づけられ、「御湯」の特権を賜り、平安時代に起源を有する宿や江戸時代に創業した老舗旅館が立ち並んでいます。仙台市が立ち並んでいます。仙台市中心部から車で30分程度と近く、2016年5月には「G7ア仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されたなど、それがボテンシャルの高さを証明しました。会議とリゾートをセントで楽しめる、仙台のMICE戦略の一端を担うこの秋保・邊原地区に、ゴルフ場ではなく、大量の太陽光パネルを數々詰めることは、観光競争の点でも明らかにマイナス影響を与えます。



⑤住民との信頼関係

現状では、事業者と地元住民の信頼関係は構築されておらず、地元では反対の署名活動が始まりました。この事業者は、静岡県田舎町(かんなみちょう)においても、強引な手法で開発を進め、地元の住民とトラブルになつていています。

八木山中体育館改修に遅れ

決算等審査特別委員会

問 仙台市立八木山中学校の大規模改修事業についてお聞きします。昭和48年に建設された向中学校校舎は、平成30年に大規模改修事業が行われた反面、同じく昭和49年に建設された体育館の中でも行つたものですが、私ども、事業者と住民の方々の合意につきましては、住民意見もあえられます。国の規制が間に合つてない実態を踏まえ、本市は先進的な規制条例を作る」とを視野に入るべきです。



●その他決算質問

北朝鮮による拉致問題解決のシンボルである「フルーリボン」にちなんだブルーのライトアップを、本市庁舎等で行なっています。

世界では子どもの人身元質化、人口減少が進む本市でも、

青銅、別の考え方で改修する

教育長 学校によりましては、公共施設マネジメントプランにおしまして、校舎と体育館、別の方で改修する

なぜ一緒に大規模改修がなされなかつたのか、理由をお聞かせください。

なぜ一緒に大規模改修がなされなかつたのか、理由をお聞かせください。